

KOYO MANUFACTURING (PHILIPPINES) CORPORATION

- 光洋フィリピン, KMP -

1. 会社概要

社名 KOYO MANUFACTURING
(PHILIPPINES) CORPORATION
所在地 Lima Technology Center, Municipality of
Malvar, Batangas Province, 4233
Philippines
資本金 1 747百万ペソ(4 366百万円)
株主 光洋精工株式会社 100%
従業員 414名
業種 ミニチュアベアリングの製造・販売
土地 88 455m²
沿革 1997年 9月 会社設立
2000年 7月 操業開始



フィリピン

2. 地域の紹介

フィリピン共和国(Republic of The Philippines) は、名もない島も含めると約7 100余の島からなり、総面積約30万km²で日本の81%に相当します。

大阪からマニラまで飛行機で4時間足らず、日本の最西端の与那国島からフィリピンの最北端イアミ島まで480kmで東京～大阪間より短く非常に身近な場所に位置しております。

国土はルソン(北部)、ビサヤ(中部)、ミンダナオ(南部)の3地域に大別されますが、歴史・風俗・習慣などにそれぞれ特徴があり、言語も100以上の種類があるといわれています。

約7 600万人の人口を有し、人口増加率は年率約2%となっています。

例年季節風の影響を受け、雨季(6月から10月まで)と乾期(11月から5月まで)にわかれ、8月から9月にかけ台風が到来します。近年は世界的に異常気象に見舞われていますが、フィリピンも例外ではなく乾期に入ってもぐずついた雨空が続いたり、11月頃になっても台風が来ています。

雨季と言っても日本の梅雨のような気候と違い、午後1～2時間雨が降るといふ毎日です。ところがこの雨の影響でfloodと呼ばれる洪水が発生し、道路が寸断されたり通行不能になる光景がしばしば見られます。

フィリピンの主要言語は、タガログ語を母体とするフィリピン語ですが、英語が公用語として普



マニラ市

及しており、英語を話す人口としてはアメリカ、イギリスにつぎ第3位の国でもあります。諸外国から進出の際、この点も重要な選択肢のひとつになっています。

13世紀末、イスラム教徒がフィリピンに進出し、15世紀末までにイスラム国家が建設されました。

1521年マゼランのセブ島への寄港に端を発し、スペインによる占領政策が始まり、1571年にはマニラが植民地の拠点となりました。

スペイン人は、フィリピン人をイスラム教からカトリックに改宗(今も国民全体の93%がキリスト教徒です)させましたが、ミンダナオ島に代表されるイスラム教徒の抵抗により、ミンダナオ島などの一部地域をキリスト教化することができず、今もこの地域には大勢のイスラム教徒が住んでいます。

その後、一時アメリカによる統治があり、今の英語社会の基礎となりました。

1942年には日本軍がマニラなどを占領し、戦後は再びアメリカの統治下におかれていましたが、1946年フィリピン共和国として独立しました。

農林水産業の比率が高く、国民総生産の20%・全就業人口の40%を占めています。近年は1991年の外国投資法発効などによる積極的な外資導入政策で、半導体・電気部品・自動車部品等輸出志向の工業化が進められています。当社がフィリピンへの進出を決断した理由のひとつに、この外資導入政策によるメリットがありました。その他にも前述の英語を公用語としている点や、フィリピン人の持つ勤勉さ、教育水準の高さ、優秀な人材確保が容易であること、フィリピンがアジアの中心にありアジア諸国への輸出入が容易であることなどがフィリピン進出の主な理由です。

フィリピンは観光資源の少ない国と思われがちで、タイやマレーシア、シンガポールなど他のアジア諸国に比べると確かに観光客の数では少ないようです。しかし一度訪問すると魅力に取り付かれリピーターとして訪れる人が多い国でもあります。

市内では、スペインの占領時代に築かれた要塞都市(イントラムロス)や教会の建物があり、当社の近くには火山湖(タール湖)の中にもうひとつ火山(タール火山)があるという二重火山を有するタガイタイという有名な景勝地があります。

幾多の島々からなるフィリピンのリゾートは、ほとんどが海辺にあり島全体がホテルといった感覚です。

当社の位置するバタンガス州にも有名なリゾート地がたくさんありますが、やはり南のパラワン諸島やボラカイと言った離島にある各種リゾートがお奨めです。近隣の島々から働きに来ているホスピタリティ溢れる素朴なスタッフ、時計が止まったようなリゾートで都会の喧騒から逃げダイビングやウインドサーフィンといったマリンスポーツに興じるのも良いものです。



従業員のひととき

3. 会社の紹介

コンピュータ用ハードディスクドライブ(HDD)のモータ軸受を生産するため、1997年PEZAと呼ばれる経済特区であるリマテクノロジーセンターに会社を設立しました。マニラ市内から約65km南下した所に位置し、澄んだ空気の比較的穏やかな気候と環境に恵まれた場所に立地しています。



KMP

1999年11月工場建設を開始し、2000年6月末に竣工式を行い7月より操業を開始しました。

平均年齢20歳の若く勤労意欲溢れる従業員の努力により、軸受の中でも高品質を要求されるハードディスクドライブ用軸受の顧客承認をわずか2ヶ月の短期間で取得しました。従業員は非常にまじめで手先の器用な人が多く、高精度軸受の生産に適した人材が豊富です。生産開始前から日本の光洋精工で研修を受け、その数50余名を数え、会社が立ち上がった今も研修を継続しています。当社で製造している製品の品質と信頼性は研修を終え帰国した彼らの力に拠るところが多く、彼らの自信にもつながっています。従業員も社内で高い評価を得れば日本へ研修に行けるということで励みにもなっています。

2001年6月にはPEZA長官、州知事および顧客・仕入先の代表者など約150名の来賓を迎え、全従業員参加による手作りの開所式を行いました。

2001年9月にISO9001、同11月にISO14000の認証を取得しました。



設立時の日本からの技術移転貢献メンバー

(光洋フィリピン 前谷清文)